

# 自己評価報告書 変更事項一覧

長野理容美容専門学校  
令和 7 年 2 月 20 日

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像等

環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。また美容業界で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

| No  | 評価項目                 | 評価 |
|-----|----------------------|----|
| 1-1 | 理念・目的・育成人材像は定められているか | 4  |
| 1-2 | 学校の特色は何か理念           | 4  |
| 1-3 | 学校の将来構想を抱いているか       | 4  |

- ・自立し力強く活動していくための総合的な力を養うとともに、相手の立場に立った必要なコミュニケーション力を身に付けられるよう、「礼儀・挨拶・整理整頓」を重点目標として指導している。
- ・人と社会との繋がりを大切にし、職業人として生き抜く力を身に付けさせる。
- ・選択科目を時代のニーズに合った内容に見直し、一層即戦力に繋がるカリキュラム内容になった。
- ・自宅待機である感染した生徒には、履修同等の課題を明確にし、学びを止めることなく履修できている。

## 基準2 学校運営

第8次5か年計画（令和2年～6年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機理体制、施設設備の充実を行う。

| No  | 評価項目                      | 評価 |
|-----|---------------------------|----|
| 2-4 | 運営方針は定められているか             | 4  |
| 2-7 | 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか  | 4  |
| 2-9 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4  |

- ・運営方針を広く周知するために、ホームページや学校パンフレットの見直しを行い、見る人の視点に立った内容にしていく。
- ・十分な教育を提供するためにも、学生の多様化に合わせ各学科、各学年に副担任が必要。
- ・本年度美容科2名、ビューティビジネス科1名の職員を採用。
- ・働き方改革により、充実した面もあるが指導面での圧迫が大きいのは軽減されていない。効率化を図ると共に現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成は継続して行う。
- ・松本校より昼間課程のクラス担任と通信課程の担任として2名担当していただいた。
- ・学生管理システムの構築。

## 基準3 教育活動

即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。両校で2学年選択授業はカット＆カラー、まつげエクステンション、フォトメイク、ネイル、ブライダルのうち2科目選択を実施した。ビューティビジネス科ではJMAメイク検定よりハイブランドと並ぶより実践的なシュウウエムラ検定に変更した。

教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

| No   | 評価項目                                | 評価 |
|------|-------------------------------------|----|
| 3-12 | カリキュラムは体系的に編成されているか                 | 4  |
| 3-14 | キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか | 4  |
| 3-15 | 授業評価の実施・評価体制はあるか                    | 4  |
| 3-16 | 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか  | 4  |
| 3-18 | 資格取得の指導体制はあるか                       | 4  |

- ・特化した技術だけでなく、基礎的知識や技術を習得することが必要である。学ぶ習慣のない生徒にとってもやる気が持続できるように指導していく。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1 学年では引き続きカット授業に 3 店舗のサロン講師に授業をしていただいている。1 店舗サロンの変更があったが引継ぎはスムーズに行われ、例年通り行われている。各課目サロン講師や各種スペシャリストに講師をしていただいた。カット＆カラーの授業内容に沿って講師を検討していく。
- ・シャンプー・ヘッドスパ授業、パーマ授業は生徒の興味関心があるカリキュラムとなっている。
- ・資格試験、検定試験などの手合わせや、ジャッジ方法の確認を行っている。
- ・両校研修会で技術力向上の研修を行った。
- ・個人に合わせて学びたい内容のテーマを選び、オンデマンド研修を行った。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・非常勤講師の高齢化が進んでおり、後任を検討していかなければいけない。
- ・資格取得に向け、放課後等を活用し個人指導を行い取得率向上に努めている

#### 基準 4 学修成果

入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

| No   | 評価項目                                | 評価 |
|------|-------------------------------------|----|
| 4-19 | 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか | 4  |
| 4-20 | 資格取得率の向上は図られているか                    | 4  |
| 4-21 | 退学率の低減が図られているか                      | 4  |
| 4-22 | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか          | 4  |

令和 6 年度就職状況

○美容科：89 名

就職希望者 **85** 名 県内：55 名（67％）県外：24 名（30％）未定：5 名  
（内他業種就職 1 名 まつエク：5 名／ネイル：1 名／メイク：1 名）  
（その他 4 名 進学：1 名／希望無し：3 名）

○ビューティビジネス科：14 名

就職希望者 **13** 名 県内：8 名（62％）県外：8 名（23％）未定：2  
（エステ 6 名・ネイル 5 名）

令和 6 年度資格取得率

○美容科 1 年生

JMAメイク検定 3 級 97.5％（40/41）  
JMAメイク検定 2 級 100％（16/16）  
INAネイルスペシャリスト検定 A 級 100％（18/18）  
パーソナルカラー検定 モジュール I 95.5％（21/22）  
JHCAヘアカラリスト検定 シングルスター 100％（63/63）

○美容科 2 年生

サービス接遇検定 83.1％（74/89）  
JNAジェルネイル検定 初級 100％（16/16）  
JEA日本アイリスト協会 3 級 100％（28/28）

日本理美容福祉協会 准福祉理美容師 98.8% (88/89)

○ビューティビジネス科1年生

アロマセラピー検定 1級 100% (13/13)

シェウエムラメイクアップ検定 100% (6/6)

JNA ネイル検定 3級 100% (18/18)

JNA ジェルネイル検定 初級 100% (15/15)

○ビューティビジネス科2年生

A E A 日本エステティック業協会 上級エステティシャン 92.8% (13/14)

A J E S T H E 日本エステティック協会 上級エステティシャン 100% (14/14)

JNA ジェルネイル検定 中級 83.3% (5/6)

- ・各種検定は昨年度より数%～数十%上昇。全体で 11.4% の合格率の上昇。
- ・合格率の上昇は、資格取得を強く望む者が受験し、担当職員の熱心な指導によるものと思われる。資格取得を望む者が減少していることが課題である。

令和6年度 美容師国家試験合格率

通信課程 14名受験 12名合格 89%

昼間課程 89名受験予定

第16回全国理容美容学生技術大会全国大会出場

アップセット 1名

ネイルアート 1名

デッサン 2名

日本エステティック協会主催 エステティックコンテスト全国大会

基本手技部門 銅賞 (3位)

応用手技部門 金賞 (1位)

入賞

令和6年度休退学者 (R7.2.20 現在)

1年生 休学者：美容科 4名 BB科 2名 退学者：美容科 7名 BB科 1名

2年生 休学者：美容科 1名 BB科 1名 合計 16名

生活習慣が乱れている、社会性が培われていないなどの様子。保護者との関係性も影響している。病気療養の生徒は体調回復次第復学予定。

## 基準5 学生支援

本校の特色は、夢と希望を持って将来美容師やエステティシャンを目指して入学してくる生徒の夢がかなえられるよう、最大限の指導と協力を惜しまない体制がある。

| No   | 評価項目                      | 評価 |
|------|---------------------------|----|
| 5-24 | 学生相談に関する体制は整備されているか       | 4  |
| 5-25 | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | 4  |
| 5-26 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか        | 4  |

|      |                       |   |
|------|-----------------------|---|
| 5-27 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 |
| 5-29 | 保護者と適切に連携しているか        | 4 |
| 5-30 | 卒業生への支援体制はあるか         | 4 |

- ・いつでも相談できるよう体制は整えてあるが、あまり活用されていないのが現状。様々な相談がもっと気軽にできるよう LINE での相談を始めた。
- ・「給付型修学支援」 対象者 1 年生 11 名 2 学年 17 名
- ・コロナ感染症は 5 類に移行されたが、感染対策についての健康管理は継続して行っている。
- ・課外活動  
青年会議所主催子供のお仕事体験に参加(生徒 4 名)  
ながの祇園祭参加(生徒 11 名)
- ・欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行く様協力して取り組んでいる。
- ・様々な事情のある生徒が増え、より一層個々への対応が必要となってきた。
- ・HP などを利用して、広く卒業生へ支援していける準備をしていきたい。
- ・新 2 年生対象の就職活動説明会を実施した。(2 月 28 日)

## 基準 6 教育環境

電子黒板や Wi-Fi などを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

シャンプー実習室、エステ実習室、テクニカルルームなど、水回りや電力の充実した教室を最大限生かして利用をしている。

| No   | 評価項目                                   | 評価 |
|------|----------------------------------------|----|
| 6-31 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか       | 4  |
| 6-32 | 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4  |
| 6-33 | 防災に対する体制は整備されているか                      | 4  |

- ・職員によるものと、外部へ依頼するものを選別して行った。
- ・引き続きオクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。

## 基準 7 学生募集と受け入れ

### 今後の学生募集

令和 7 年度学生募集については、多くの入学希望者を確保することができた。

ひとえに、伝統校としての信頼感に加え、学校の雰囲気の良い。先生たちが大切に学生たちを育成している点が選ばれた理由だと感じている。

今後はより一層県外流出防ぐ手立てと、時代に合った広報活動に力を入れていく。

| 評価項目            |       |            |       |
|-----------------|-------|------------|-------|
| 1、過去の 5 年間の入学者数 |       |            |       |
|                 | 美容科   | ビューティビジネス科 | 計     |
| 令和 3 年度         | 105 名 | 19 名       | 124 名 |
| 令和 4 年度         | 119 名 | 13 名       | 132 名 |
| 令和 5 年度         | 100 名 | 18 名       | 118 名 |
| 令和 6 年度         | 97 名  | 18 名       | 115 名 |
| 令和 7 年度         | 112 名 | 15 名       | 127 名 |

| No   | 評価項目                        | 評価 |
|------|-----------------------------|----|
| 7-34 | 学生募集活動は、適正に行われているか          | 4  |
| 7-35 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4  |
| 7-36 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか  | 4  |

- ・ビューティビジネス科の学生数が伸び悩んでいる。現場の先生方と意見を出し合いながら、より一層ビューティビジネス科の魅力を伝えていく必要がある。
- ・学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう、検討していきたい。
- ・令和6年度より実施開始しているWEB出願、入試制度変更について、高校廻りを実施する準備を開始している。（6月7月実施予定）
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策一環として、山梨県、進路ガイダンス参加。マイナビ・リクナビの活用
- ・2025年度新パンフレット3月末納品予定。
- ・学園HP内容について、新しい業者（ながの小町）との打ち合わせを開始している
- ・広報内容について、時代にあった方法を構築していく。

## 基準9 法令等の遵守

| No   | 評価項目                       | 評価 |
|------|----------------------------|----|
| 9-43 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4  |
| 9-44 | 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 4  |

- ・SNSを上手に使いこなしていくためにも、啓発活動を継続していく。
- ・校舎新設の際にWi-Fi環境の整備とともに、インターネットセキュリティの強化をしている。
- ・重点目標に向かって、課題や解決方法を探りながら問題点の改善に取り組み、本校の問題点を見つけ、解決するようにしている。

## 基準10 社会貢献

**美容科** 社会福祉学を学ぶなかで、理美容介助士の資格取得し、体に障害のあるお客様に対応できる介助技術を学んでいる。どなたへもより良い対応ができるよう『准福祉理美容師』『福祉理美容師』の資格を取得できるカリキュラムとなっている。

**ビューティビジネス科** 上記同様に地域ボランティアとして学んだ技術を提供する来校実習を行っている。

| No    | 評価項目                       | 評価 |
|-------|----------------------------|----|
| 10-46 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 4  |
| 10-47 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか     | 4  |

- ・ヘアフェスティバルでは、保護者のほかに地域の皆様にもお越しいただき、技術披露を実施することができた。
- ・生徒会が中心となり、社会問題への関心と、本校でできる取り組みを積極的に行う。生徒とともに、職員が率先して社会問題に関心を持ち、学校として、美容に携わる者として、また長野県民として何ができるのかを模索できるような環境を作っていく。

### ・ボランティア

青年会議所主催子供のお仕事体験に参加(生徒4名)

ながの祇園祭参加(生徒11名)